



放送大学茨城同窓会会報



ときわ

発行所

放送大学茨城同窓会 (茨城学習センター内)
 〒310-0056水戸市文京2-1-1(茨城大学内)
 発行人 会長 細川 力
 編集 会報編集委員会



同窓会総会と今後の活動について

茨城同窓会会長
細川 力

茨城同窓会の目的は会則に「会員相互の親睦と情報の交換及び相互研鑽を図ることにあり併せて放送大学の発展に寄与する」等あります。

茨城同窓会が発足して初めての総会が5月27日に行われました。H14年活動と決算、H15年予算が承認されました。総会に先立ち学習センター長の奥達雄先生による講演「教育雑感」について教育に携わった経験から教育に対する姿勢やエピソードを交え述べられた。

今年度の活動として機関紙「ときわ」の内容の充実を図るため多くの会員の投稿をお願いしたいと思います。また研修旅行については学習センターとほぼ同時期と重なるため、学習センターと合同で行うことになりました。

また同窓会連合会の活動として大学本部との懇談会では、丹保学長から独立法人となる大学の現状と今後の展望について伺うことができました。

また同窓会から、要望事項として卒業研究の開始や、修士科目履修期間の延長などを要望しました。

さらに、事業として舞浜の東京ベイ・ヒルトンホテルで行われたH14年度の卒業祝賀、謝恩パーティでは600名を超える参加者を各同窓会(茨城2名)から募った実行委員約80人で整然と行われた。

茨城同窓会として皆さんの協力を得て活動していきたいと思ひます。



(奥センター長による講演)

学習センターと合同開催の研修旅行

実行委員長 葛貫壮四郎

平成15年度学生研修旅行が、下記内容で開催されます。現役学生、学習センター職員、同窓生の交流の良い機会ですので皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 1.日時:9月20日(土)雨天決行
- 2.場所:茨城県北茨城市
- 3.募集人数:40名(定員になり次第〆切)
- 4.参加費用:3,000円(昼食代込)
- 5.申込〆切:9月13日(土)
- 6.申込方法:事務室窓口に参加費を添えてお申込みください。
電話でも受付いたします。(029-228-0683)
- 7.行程
 - (1)茨城学習センター集合 8:45
出発 9:00
 - (2)ガラス工房シリカ(北茨城市)
ガラス体験(サンドブラスト)
 - (3)レストラン松野屋 昼食
 - (4)茨城大学五浦美術研究所 六角堂
 - (5)茨城県天心記念五浦美術館
 - (6)茨城学習センター 着 16:50

NPOと放送大学のちょっとイイ関係

江崎礼子

放送大学茨城学習センターで学ばれた皆さん、また現在学び続けておられる皆さん、こんにちは。

私は、2002年3月に放送大学教養学部「発達と教育」専攻を卒業いたしました、江崎と申します。現在は、ドラえもんAC広告でおなじみの「世界の子どもにワクチンを」日本委員会というNGOで有給スタッフとしてフルタイムで働いております。

このたびは、同窓会の会報に私たちの活動を紹介する機会を頂戴しまして、ありがとうございます。以下、私事になりますが、少しお付き合いくださいませ。

さて、皆さんは、放送大学で様々な勉学を勤しまれておられますので、日本の社会のこと、

世界のことに高い関心があることでは、NPOってご存知でしょうか？NGOは？ちょっと前は国会でもあるNGOと議員の件で注目を集めましたし、現在も北朝鮮問題などに絡んでNGOの名前が報道されていますね。私の働いている「世界の子どもにワクチンを」日本委員会は、NPO法人でありNGO団体です。何の事を言っているのかな？って思われますでしょう。では、NPO・NGOについて少しご紹介させていただきます。

まず私とNPOとの出会いは、茨城学習センターで行われた「まちづくり入門」という講義です。この講義で、私は茨城大学人文学部の帯刀（たてわき）教授と運命的な出会いをしたのです。帯刀先生は、茨城県のNPO全体の支援センター、茨城NPOセンター・コモンズの代表をしておられます。私は主に教育社会学を中心に学びました。その中でも、学校教育以外の部分で、子どもたちによりよいサービス（支援）を行える方法があるのではないかと、それは、学校を否定するのではなく、学校以外でも、1人でも多くの子どもが生きがいを持ち、目標を持って生きていけるようなくみが必要なのでは、と思っていたのです。でも具体的な何、というものがわからず目標が見つからず彷徨っている状態でした。

そんなある日、面接授業の科目表の中で、まちづくりについての講義が目に入りました。考えてみれば、教育とか子どものことを考えるときに、地域のこと、町とか商店街とかのことって関係ありますよね。家庭の次に子どもが接する社会、それが地域なんじゃないのかな、って思ったら絶対に学ぶべきことがあるに違いないと思ったわけです。特に、私は当時水戸から取手に引越したばかりで、水戸に対してとても愛着がありましたので、水戸のまちづくりを学ぶことに魅力を感じました。その中で、とって感銘を受けたのは、営利を目的としないけれど公益のために活動をする法人が実際に出来ていて、市民のために頼まれてもいないのにボランティアをしたりサービスを提供する人々が実際にいる、ということでした。そして、NPO法人というのは、様々な活動の種類があり子どもの健全育成活動を目的とした団体も多いということでした。私の期待通りの講義でした。

さて、NPO (Non-profit Organization 特定非営利活動法人)とは、1998年に制定された特定非営利活動促進法という法律に従い、民間団体が資金や役員などの制約なしに、簡単に法人格を取れるようにした制度です。きっかけは、阪神淡路大震災の復興時に、民間のボランティア団体やボランティア組織が、行政に出来ない部分でかなりの力を発揮したために、ボランティアでも組織として立派に活動できる。また、社会のサービスの一部を担うことが出来る、という事が示されたからだと言われています。また、この法律に従って法人格を取ってなくても、非営利

活動をしている団体を総称してNPOという場合があります。米国では、私立学校もNPOに含まれているそうです。

一方、NGO (民間の国際支援団体)というのは、本来は国連の会議で、国籍を問わず重要な国際支援を行っている団体に、発言権をあたえるためにつけた名前だと言われており Non - Governmental Organization の略です。非政府組織とも言います。

法人格は、財団、社団、NPO法人等さまざまですし、逆に法人格を持っていなくても、海外で立派に貢献活動をしている団体もあります。私は、放送大学の卒業と同時に、NPO研究でお世話になった現在の上司である吉田里江さんのご紹介で「世界の子どもにワクチンを」日本委員会で働く機会を得られました。私たちは、途上国の子どもたちに予防接種ワクチンを送り届け、現地の予防医療の支援活動を行っています。全国各地の方々から募金や切手、テレカなどの寄付をたくさんいただいております。昨年12月には、ミャンマーへ予防接種活動のお手伝いと視察に、娘の智奈美と一緒に参加させていただき、貴重な経験をさせていただきました。途上国では、わずか20円で1人分のポリオワクチンを接種することが出来ます。地方に行けば電力も無く、交通手段も整っていない国では、医療を充実させることがいかに困難であるか、目の当たりにして参りました。そして、同じ地球市民として、助け合っていくことの意味を改めて感じて参りました。



(chinamiワクチン接種)

考えてみれば、みなさんはなぜ放送大学で学ぼうと思われたのでしょうか。勉強したい、自分のスキルをアップしたい、というのはもちろんですが、ご自分の疑問や課題を解決したい、たとえば地域で起こっている問題を解決するには、とか、子どもの問題をどうやって解決するか、同居の高齢者の方が具合が悪くなったらどうしたらいいだろう？とか、ご自身の抱える問題をどのように解決していくか、ということのために、より専門的に勉強しようと思われた方も少なくないのではないのでしょうか。そして、何より社会の役に立ちたい、人の役に立ちたい、と思われたのではないのでしょうか。

放送大学は、学びたいすべての人に、高等教育を受ける機会を提供する、画期的な仕組みです。しかし、何のために学ぶのか、その成果を試す機会は十分に整備されているとはいえません。これは、放送大学の問題なのか、社会の問題なのか。でも、学んだ知識を生かす仕組みは、じつはNPOを中心として地域社会には確実に定着しつつあります。このように考えていただくと、放送大学で学ばれた皆様と、NPOとは、ちょっとイ関係だと思いませんか？

NPOは、いつでも誰でも参加したいと思ったときに参加できます。そして、その活動内容も、選べます。国際支援に感心がある方は、国際支援団体へ。子どもに感心がある方は子どもの活動へ、福祉に感心がある方は福祉団体へ、と、放送大学で学ばれた皆様こそ、NPOなんて知らないよ、と言わずに、一度ご自分のテーマに合ったNPOを調べてみてはいかがでしょうか？

私はこれからも、「世界の子どもにワクチンを」日本委員会でのお仕事を通じて、日本の国際支援活動の一翼を担うとともに、茨城NPOセンター・コモন্ズの会員として、茨城という地域社会がよくなるために、活動を続けて行きたいと思っています。

葛貫さま、山口さま達が立ち上げられた、いばらきL3ネットの活動も、法人格はなくても立派なNPO活動です。私もお仲間に入れていただいています。ITを活用した社会貢献の具体的なケースとして、大変期待できるものだと思います。同窓会の皆様、ぜひ一緒に活動しましょう。このように、皆さんの思いを社会へ届けるしくみ、それがNPOだと私は考えております。何をしたらいいかわからなくて迷っておられる方、まずはコモন্ズの事務所を尋ねてみてはいかがでしょうか？きっと、素敵な出会いがあるはずですよ。

終わりに、帯刀先生にご相談の申し出をした際に、苦労して先生を探してつないでくださった、放送大学茨城学習センターの事務所の方、お名前は存じませんがこの場をお借りして本当に御礼申し上げます。私の今は、多くの皆様によって支えられていること、心から感謝しております。

いばらきL3 (LifeLong Learning) ネット紹介

葛貫 壮四郎

茨城の生涯学習に興味を持つ人達、各団体(メールリスト含む)の横の連絡ネットとして、いばらきL3 (LifeLong Learning) ネットを関係者と立ち上げました。本ネットは、歴史、科学、自然に興味を持つ者が、情報技術を活用し、文化の継承と親睦を図りながらコラボレーション(協働)を行い、楽しみながらの社会貢献、豊かな生き方の実現を目指すことを目的としております。入会希望者は会員の井下さん(inoshita@sage.ocn.ne.jp)までメールください。

同窓会に寄せて

大学院全科生 横田 吉弘

「同窓会に寄せて」と言っても、小生は現在、大学院に在籍中なので、ピンと来ないのが本当の気持ちです。

放送大学を知ったのは会社を定年となって、更に嘱託を2年経て、会社生活を終わろうとする時、会社の教育係に放送大学のパンフレットがあり、初めて眼に入り、それが、10月からCS放送にて全国展開となり、茨城学習センターにて、全科生を初めて受け入れるという時期に出会うことが出来たのが発端でした。

初代のセンター長や事務長と一緒に各種の行事に参画し、計画もしました。日頃は自分だけの時間で勉強をしているだけで、学生同志の集いがなかなか無く、話をするチャンスも無いので、一人でも多くの学生が集まって、勉強の事や、それ以外の事を話す機会があればと考えたものでした。

ところで、発足したばかりの、茨城同窓会においても同じように考え、学習センターの行事(今回は8月23日土曜日、ボウリング・水戸、9月20日土曜日、研修旅行・北茨城)に学生と共にOBとして参加することをスタートに少しでも多くの同窓生が集まって来ることを望んでいます。そうすれば次第に次の計画やOBとしてだけでなく、現役の学生と共に行動することも可能となり、楽しい計画が生まれるものと思います。

放送大学の同窓会(生)は年令も幅広く、現役の学生へも数多くの経験やセッションが出来るものと思います。学習センターの学生はクラブ活動(三つのクラブ)で多くの人が活動していますが、同窓会においても、人生の広い経験を仲間や現役の学生に示すことは有意義な事ではないかと思っています。まず、手始めに学習センターの行事に参加して、現役の学生と一緒に楽しんで見ることをスタートとしては如何でしょうか！飲み会だけでなく、スポーツやクラブ活動と同様で行動的な集まりを計画してはと思っております。

葛貫副会長の如く、積極的なクラブ活動や多趣味で多くの事をこなしている「見本」の様な人も居られるので、計画次第では楽しい同窓会活動が出来るものと思いますが、会員の皆様は如何でしょうか。次いで、同窓会の皆様には卒業と同時に別の計画や違う人生の行動に進まれて居ることと思いますが、多くのOBが大学院に進まれることを計画してみても如何かと思いますが、一考の余地は無いでしょうか。

放送大学の理念での大学院なので仕事や多忙な趣味の中でも可能だと思いますので一人でも多くのOBが大学院への計画をしてみてもどうかと思います。

息の長い同窓会として存続することを祈念して、乱文の終わりと致します。

私の身辺雑記

堂本一成

定年後は、畑の野菜作りや魚釣りやぶらぶら歩きの生活に入りましたが、ボケ防止にと思い立って5年前に放送大学に入学しました。38年間勤めた会社では、理工科系の仕事をしていたので、今度は文科系の分野をやってみようと思って大学では人間の探求を専攻しました。歴史と文学が好きでしたので、授業科目は日本の古代から現代にいたる歴史と文学を中心とし、それに関連する科目を選びました。その中で選んだ文化人類学で、移動民の都市人類学的研究として、先住民の都市移動の問題について関心をもちました。

3年前に何とか卒業することができました。翌年開設された大学院に幸い入学することができたので、現在オーストラリアの先住民であるアボリジニの都市生活の実態について学んでおります。

学部るとき、ふるさと探勝会とパソコン・クラブに入会しました。染野会長や葛貫会長の熱心なご指導のお蔭で、皆さんと親睦を深めることができました。このクラブ活動は大変に良かったと思っています。パソコンは本当の初心者で皆さんに親切に教えていただいて助かりました。現在、表つくりや写真入りのレポート作成に大いに役立っています。

同窓会のみなさん、どうぞよろしく願っています。

拝啓 同窓会の会員の皆様

布川 晋子

お元気でご活躍のことと存じます。今年は長い梅雨が明けたものの冷夏で、つい最近まで日中は長袖、夜は蒲団が放せませんでした。

しかし、ここ数日、日本列島は急激な暑さに見舞われ、これこそ夏だと喜ぶ人あり、また身体がまいてしまうど危惧する人あり、本当に様々です。丈夫だけが取り柄の私は「自然に任せるしかない」と独りごとまじりで、一向に進行しない大学院の研究計画書を尻目に仕事に精を出しています。また、家には野球少年の15歳の長男を頭に、多感な11歳の長女、活発な6歳の次男、そしてある意味で一番手がかかる主人の5人がおり、家事も育児もまた妻役割も、一向に手を抜けないのですから「誰か助けて～」といった心境です。そんなにしてまで学ぶ必要があるのかという人もいますが、生涯学習は万人の夢です。半歩、あと半歩とつい粘っているのが現状でしょうか。大学院修士全科生への合格は3年越しの夢です。大学院における単位認定はすでに約20単位ほど修得しました。来年度は是非とも研究指導を受け、自分のキャリアアップを図りたいものです。

現在、私は3年課程の看護専門学校で専任教

員をしています。15年間助産師をした後、看護学生にこころ惹かれ教育の道に根ざしました。しかし人に教えるのは自分で学ぶより難しく、知識はもとより技術や人間的にも優れていることが必要とされますのでかなり辛いものがあります。

中でも一番苦しいのは実習と授業が同時進行していくので、時々頭の中がグルグルと混乱するほどです。例えば1年生のクラス運営を考えながら、2年生の授業を組み立て、3年生の実習記録を指導しながら卒業論文を添削して...体があと2つあればいいのと思うことがしばしばです。

しかし、3年間における学生の成長は目覚ましいものがあり、多くの感動が得られます。時々ひねた学生もおりますが、臨床実習をすることで確実に成長します。生きる意欲やトイレで排泄する快適さを忘れてしまったご老人が若い学生に出会い、自分のよいところを見せたくて変わっていく姿や患者様に受け入れて頂きたくて思い悩む学生の姿など、患者様や学生の変化を待つことが私のひそかな楽しみです。

どうぞ同窓会の皆様もどこかで看護学生に出会うことができましたらぜひ温かく接して下さい。よろしく願っています。

さて、私は平成13年3月茨城同窓会が発足当時、放送大学を卒業しました。ひとりで出かけたNKホールの同窓会受付で「茨城県」という文字がやけに親しげに見え、いつになく迷わず入会しました。その目的は生涯学習をする上で自分の励みになる仲間や様々の情報を得たいという気持ちからだったと思います。

しかし、卒業式に入会金をお支払いしたまま未活動でした。時々お電話で行事のお誘いを頂いておりましたが時間が合わず参加することはありませんでした。年が変わって細川会長より今年度の総会の案内を頂き、リフレッシュの気持ちで出席しました。

当日の午前中は茨城学習センターの奥所長の講演で先生の経歴やお人柄が伝わってくるようなお話を頂きました。また、総会後の懇親会にも出席しましたが、参加された方々はとても気さくでユニークな経歴を持っておられ、とても楽しく過ごすことができました。もっと早くから行動を起こすべきだったと後悔した次第です。

私がいうのもなんですが、どうぞ皆さん同窓会に参加して、是非、一緒に活動しましょう!

編集後記

9月27日には、また、新しい卒業生が誕生します。今回は、茨城学習センターと茨城同窓会で卒業パーティも開かれます。是非参加し、お祝いしませんか。

今号は皆様に快く原稿を引き受けいただき、無事第3号を発行することができました。次号も皆様の原稿をお待ちしております (S.K.)